

【担当教員名】 市島民子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

小児の言語障害を臨床分類により、障害のタイプと原因および臨床の手順と指導法について学習する。
言語発達遅滞の各論では、幼児期、小児期に診断される障害について、DSM-IV-TRにそって学び、臨床例と言語指導の実際は画像において学習する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

言語発達障害全体を理解する。
障害別の臨床像については、①言語症状および発達特徴および②発達課題を言語と発達の諸側面（他領域）との関連において理解する。
初回面接、評価、指導プログラムのたて方について、言語臨床の一連の流れを学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	言語発達障害総論		講義
2	言語発達障害のタイプと原因		講義
3	言語発達障害児の言語聴覚指導		講義 ビデオ
4	言語発達障害各論 精神遅滞		講義 ビデオ
5	広汎性発達障害（1）		講義 ビデオ
6	広汎性発達障害（2）		講義 ビデオ
7	アセスメント		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書				
参考書	入門コース・ことばの発達と障害2：ことばの障害入門	西村辨作編	大修館書店	2001年 2200円
その他の資料	講義は、プリント使用			

【評価方法】 小レポート レポートまたは試験	【履修上の留意点】 画像学習での守秘義務については、充分留意すること
------------------------------	---------------------------------------